



日も短くなり、秋の調べが訪れはじめました。今日この頃、皆様はいかがお過ごしでしょうか。九月のお彼岸のご案内をさせて頂きます。また維持費未納の方は、お寺の護持の為ご協力お願い申し上げます。

お線香

お線香のお供えの仕方を聞かれることがあります。何本立てますか?」立てますか、寝かせますか?」宗派によつてさまざまであり、お寺によつても違つるように言われる事もあるかと思ひます。

まず、線香をお供えする功德ですが、御香といふのは一方の端に火をつけましたら、他の端までズーと燃えていきます。途中で休んだり、横道へそれたり致しません。それで香をささげる功德によつて精進努力の徳が成就します。

また、香は隅々まで広がつていく事から、仏さまの教えが広まり浸透していくともいわれます。

また「俱舎論」というお経では、四十九日までの間亡くなられた方は、「食香」といつて、香りを頂くという事で、御香はお食事をあげるようにお供え致します。

また御香には香の十徳といわれ次のよう

- ① 感覚が鬼神のように研ぎ澄まされる
- ② 心身を清く浄化する
- ③ 穢(けが)れをとりのぞく
- ④ 眠気を覚ます
- ⑤ 孤独感を拭う
- ⑥ 忙しいときも和ませる
- ⑦ 多くあつても邪魔にならない
- ⑧ 少なくとも十分香りを放つ
- ⑨ 長い間保存しても朽ちない
- ⑩ 常用しても無害

な効果があるといわれております。



以上御香には様々な功德がありますのでそれをお供えするだけで大きな功德があるのです。これにそれぞれの宗派で意味づけを加えています。

真言宗では基本三本を立ててお参り致します。何故三本かといえますと、私たちの人間の行動は「身(身体)の行い(身)、言葉の行い(口)、心の行い(意)」の三つに分類され、その行いを清めていく、修行していく「三密行」にちなみお供えております。また、亡くなられたときは、「一

本の道で迷わず成仏しますよう」と一本のみ立てお供えしております。

それぞれの家庭では、以上の意味を踏まえて亡き人を思い、自身の修行としてお供えいただければ、それぞれのお供えの仕方でも構いませんので、安心してお参りできるお供えの仕方でお参りください。

もうすぐお彼岸です。お線香の功德のように、周りの人を快くさせる精進努力を営みたいものです。合掌

六波羅蜜 彼岸行くための六つの方法

- 布施 施しをして欲を離れる。
分ち合う喜びを。
- 持戒 きまりを守り、さわやかに。
- 忍辱 がまん、がまん。笑顔を忘れない。
- 精進 怠けない。あせらない。
こつこつと努力!
- 禅定 落ち着いて、落ち着いて。
平常心を忘れない。
- 智慧 偏見を持たない。
有りのままに真実を見極める。

お彼岸は自分と向き合う修行期間です。



行事のご案内

「秋彼岸会」

九月二十日 十三時半

於 北見別院

九月二十三日 十時

於 津別町福王寺

※津別と北見別院お参りの日付違いますので注意下さい。

※遠方で、当日お参り出来なく、ご廻向希望の方は同封の振替用紙をご利用下さい。

寺院 活動報告

「夏下座行」

夏の時期は、成年部の皆様や、婦人部の方をはじめ、個人的にお手伝いされる方等、たくさんのお手伝いを頂き、お寺の境内を綺麗に整えて頂いております。

今年度は、山道が流されないよう、雨の通り道をつくるための作業を執行致しました。

是非一度皆様にも福王寺の裏にある八十

八カ所霊場をお参り頂きたく存じます。

また、お気軽に下座行のご参加をお待ちしております。境内を綺麗にすることは、心を綺麗にすることへと繋がるといわれます、是非心の修行に気持ち良く、下座行いたしましょう。



「地藏盆」

今年は、趣向を変え四国八十八カ所霊場のお砂を持ち帰って、袋に縫い合わせたものを踏み、八十八カ所霊場をお参りして頂くお砂踏みとよばれる修行を致しました。また、たくさんの子供たちに手を合わせる機会をもつて頂きたく、バルーンアートの方のショーを執行致しました。

楽しくお参りが出来たのではないかと思います。幸せを祈る、どんな方もお寺に来てよかったですと思えるお寺になっていければ良いと思います。



「盂蘭盆会」

今年もお盆のお参りを無事に勤めることができました。たくさんの方たちが有縁のとき方を思い、お寺やお墓を訪れ、手を合わせる。

思い思われる事、本当に素敵な事ですよ。そんな時間をこれからも大切にしたいと思えます。



「四国八十八カ所巡拝!!!」

来年の四月一日から十四日まで四国八十八カ所霊場の巡拝伺います。是非お誘い合せて四国へ行きましょう。



遠くの檀家さん札幌や内地の方でも現地集合で構いませんのでお気軽にお尋ねください。また檀信徒以外でも構いません。お誘い合せてお参りください。

「ホームページ案内」

津別町福王寺で検索にかかると思っています。
<http://fukuoji.info/>

「Facebook」というサイトのページもごさいます。寺院活動随時更新しておりますので、是非検索してご覧いただければ幸いです。